

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871400226
法人名	医療法人青峰会
事業所名	アクティブライフ宇和
所在地	西予市宇和町卯之町5丁目233番地
自己評価作成日	平成21年12月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

第二のわが家となれるように一番下が23歳から98歳と一緒に生活し常に笑顔があるような生活を目指している

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎月、ご家族とかかりつけ医を受診されて、お好きな「うどん」を食べて帰られる方もある。職員とともに、ご自宅に戻ってみられたり、ご家族とお墓参りをされる方もある。以前住まわれていたところの民生委員の方やお友達が訪ねて来てくれることもある。ご家族から届いた手紙には、必ずご本人から返事を出せるよう支援されている。  
職員は、利用者の出来ることを行ってもらえるよう支援されており、見守りながら「お願いします」「ありがとうございます」と声掛けをされていた。食後の歯磨きをされる際、歯磨き粉がなくなった利用者、職員は「この間、一緒に買いに行った時の歯磨き粉ですよ」と新しいものをお見せして、ご本人にも納得していただきながら取り替えておられた。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 アクティブライフ宇和

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 笹田 智子

評価完了日 21 年 12月 27日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)  前回理念が変更する予定があったが施設長が変更になり出来ていない。前回と同じくフロアーに掲示し、いつでも確認ができる状態にしている。	
			(外部評価)  事業所では「みんなの個性、意思、人生を大切に、楽しい刺激のある自由な生活を送れるよう支援します」と開設時に理念を作成され、職員会時等で理念について話し合いながら、実践につなげられるよう取り組まれている。	管理者は、職員全員で話し合っ、地域密着型サービス事業所としての理念について、検討していきたいと考えておられた。地域の中にある地域密着型サービス事業所として、どのようなことを目指していくかということについて、話し合いながら取り組みをすすめていかれてほしい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)  近くのスーパーに買い物に行ったり業者も地域の業者を利用している。	
			(外部評価)  職員とともに近くのスーパーへ食材を買い行かれたり、ホームセンター等に利用者の生活用品等を買に出かけておられる。交通量の少ない安全なコースを選び、お散歩に出かけて、ご近所の方達と出会った際には挨拶を交わしておられる。事業所では、第1回の「介護教室」を開催された。回覧板で案内されたが、今回は地域の方の参加はなかったようである。	「介護教室（介護予防）に行ってみたい」と思っておられる地域の方からの声はあるようだが、現在は参加に結びついていないようである。今後も、アイデアを持ち寄り、事業所の特性を活かして地域の認知症ケアの向上に貢献していかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)  なかなか出来ていないが、介護教室を開催した。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実                      際、評価への取り組み状況等について報告                      や話し合いを行い、そこでの意見をサービ                      ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)                      サービスの実施状況・入居者や職員の入れ替わり・感                      染症などへの取り組みなどホーム側からの報告のみで                      ほとんど意見が出ない。                      市の職員さんからはアドバイス・情報をいただき、運                      営に役立てている。</p> <p>(外部評価)                      運営推進会議では、事業所の取り組みや活動について                      報告して、ご意見をうかがうようにされている。現在                      は、出席者からのご意見は少なめで、出席者から「外                      部者が出席する意味」についての質問も出ているよう                      である。次回の運営推進会議から、同じ地域にある法                      人のグループホームと、相互に出席することを計画さ                      れていた。</p>	<p>会議の目的や意義を明確に示されたり、事業所にとっ                      て意義のある会議となるようなすすめ方の工夫が期                      待される。いろいろな立場の方に出席いただけるよう                      う、案内や内容の工夫を重ねながら、事業所独自の会                      議開催に取り組んでいかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、                      事業所の実情やケアサービスの取組みを積                      極的に伝えながら、協力関係を築くように                      取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      民生委員、消防署（避難訓練）、介護相談員に来て頂                      いている。</p> <p>(外部評価)                      運営推進会議時に、市の担当者から、新型インフル                      エンザやノロウイルスについての情報を報告いただ                      いたり、日々の中でもケアサービスについて事業所で疑問                      を感じることは、相談しながら取組みをすすめてお                      られる。又、市主催の研修会へも参加して勉強されて                      いる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準におけ                      る禁止の対象となる具体的な行為」を正し                      く理解しており、玄関の施錠を含めて身体                      拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      身体拘束をしていないケアに取り組んでいる。やむな                      く行う場合は家族の了解、同意書を取る。</p> <p>(外部評価)                      事業所内に身体拘束についてのマニュアルを掲示されてい                      る。又、身体拘束についての研修に参加した職員が、研修内                      容を報告されている。特に、利用者への「言葉掛け」に注意                      を払い、拘束をしないケアに日々取り組まれている。病院を                      退院後、ご家族と相談の上、安全のために数日ベッド柵をさ                      れていた利用者もあったが、現在は、床にマットを敷き対応                      されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  スタッフ全員で虐待のないようにしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  研修に参加しているが、活用はできていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約は管理者が行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  意見箱を設置している。面会時にお話しして頂いたりしている。  (外部評価)  毎月、ご家族にお手紙と写真を送付して、ご本人の様子を伝えておられる。又、来訪時には、近況報告や新人職員を紹介されている。玄関には、職員の写真とメッセージを掲示し、ご家族とのコミュニケーションのきっかけにもなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			代表者と、話す機会がない。管理者が月に1回、スタッフ会を設けている。	
			(外部評価)	
			日々のケアについて、職員の意見や気付きを申し送りノートに記入し、ケアに反映されている。管理者は、職員の体制のことや庭・花壇の手入れの協力者の確保等、お願いしたいことを法人に伝えておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者と話す機会がない。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人で新入職員・中堅者・管理者研修がある。法人外の研修情報提供と参加のためのフォローもされている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			代表者がどのような、働きかけをしているかは分からない。同業者と交流がない。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			業務の間に耳を傾けている。業務の時間に追われがちになり時間がとれていない時もある。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>来所持に話しをしたり、病院受診時には結果を電話し伝えている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>見学時に、家族や本人に話をして、必要な支援を聞いている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所手伝いや、洗濯物たたみ等を一緒に行っている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>緊急時や急変時には家族に連絡をしている。又、1ヶ月に1回日頃の様子を手紙にて伝えている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>誰でも面会に来れるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎月、ご家族とかかりつけ医を受診されて、お好きな「うどん」を食べて帰られる方もある。職員とともに、ご自宅に戻ってみられたり、ご家族とお墓参りをされる方もある。以前住まわれていたところの民生委員の方や、お友達が訪ねて来てくれることもある。ご家族から届いた手紙には、必ずご本人から返事を出せるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者の間に立って穏やかな関係を保つようにスタッフが気を付けている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用者の方が他の病院で亡くなったりしても、職員一同で弔電をうったりしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人一人に担当がつき、本人がよくなるようにスタッフ会で話し合いを行っている。  (外部評価) 夜間、車いすを使用してトイレに行かれる方やお部屋にポータブルトイレ置いて使用される方等、個々のご希望等も聞きながら、ご自宅での暮らし方を大切に続けられるように支援されている。意思表示のむづかしい利用者には、表情や動作等から、「今、何をしたいか。何をしたいか。」を探り、支援につなげておられる。アセスメント表には「認知症状況意思疎通、活動・作業、移動・移乗、家事、排泄、睡眠、入浴、更衣・整容、バイタル、内服、その他」の欄を設け、利用者一人ひとりの現状や希望等の情報を集めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族との会話の中で、情報を把握するようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 血圧や体温の測定、日々の様子の変化に注意し、申し送りや個人記録により情報を把握し共有している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月に一度スタッフ会を開催し三ヶ月一度ケアプランの見直し話し合いを行い、モニタリングをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「個別援助計画」にご家族の意見欄を設け、意見を出してもらうようにされている。「夜間の車いすの使用」「自分で食べられないときには介助してほしい」等、利用者個々がより良く暮らせるように、ご本人やご家族とも話し合っ、現状に応じた介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の記録を共有して見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じて外部医療機関に受診したりグループホーム担当医に報告しているが、充分に取り組めていない。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>依頼をし、ボランティアの訪問、消防署協力による避難訓練及び指導に来て頂いている。 近くのスーパーへ入居者の方と一緒にいる。 週2回パン屋に来てもらい、好きなパンを選んでもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族、本人が希望している病院をかかりつけ医にして いる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、利用者、ご家族の希望を聞き、これまで のかかりつけ医に続けてかかっておられる方や協力医 を希望される利用者等、それぞれの希望に合わせて支 援されている。近くの医療機関の受診は、職員が同行 され、遠方の医療機関への受診には、ご家族が同行さ れている。受診の結果は、事業所からも、ご家族から も、互いに報告し合っておられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>週に1回、真網代から連携看護師に来てもらい、その都 度相談している。又2週間に1回ホームのかかりつけ の医師が訪問した際にも相談している</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員が面会に行き看護師や医師から情報を得て退院に 備えている</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>余命宣告を受けた時点で家族と、施設長が話し合い同 意書を交わし看護師、医師と話し合いを繰り返し不安 を解消している</p> <p>(外部評価)</p> <p>重度化した場合や終末期を迎えた場合には、ご家族、 医師、管理者とで話し合いを重ねて、又、終末期に立 ちあうご家族、職員の心構え等についても話し合い、 支援に取り組まれている。看とり支援時に他の利用者 への影響等、心配なこともあったようだが、利用者 の方達も落ち着かれています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 吸引機や酸素の使用方法について全職員が理解している。急変時のマニュアルを作成し、スタッフ会等で配布している。また、経験の浅い職員に対しては研修参加をさせたり指導も行っている。連絡体制については、スタッフ会等で話し、いつでも確認できるように目に付くところへ張り出している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害対策マニュアルを作成し、いつでも見られるようにしている。スタッフ会で誘導・通報・応急手当等の分担について話し、自分の役割を把握している。定期的に避難訓練を行い、入居者の方にも避難経路の確認をしてもらっている。 (外部評価) 毎月、自主的に避難訓練に取り組まれている。夜間想定での訓練では、2階から布団を使って階段から避難させる訓練が行われた。	夜間の災害時に備えて、地域の消防団や地域の方達と協力し合えるような体制作りについても、すすめていかれてはどうか。利用者、職員の安心と安全を確保できるような体制作りについて、運営推進会議等も活かしながら、話し合いをすすめてみてはどうか。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の先輩であるという気持ちを常に忘れず接している。又不適切な言葉かけがあった場合は、職員同士で注意している。 (外部評価) 職員は、利用者の出来ることを行ってもらえるよう支援されており、見守りながら「お願いします」「ありがとうございます」と声掛けをされていた。食後の歯磨きをされる際、歯磨き粉がなくなった利用者、職員は「この間、一緒に買いに行った時の歯磨き粉ですよ」と新しいものをお見せして、ご本人にも納得していただきながら取り替えておられた。	事業所では、「言葉遣い」に気を付けておられるが、時々、職員同士の会話に配慮の必要な場面も見られる。今後も、職員同士で点検や確認をされたり、ご家族や運営推進会議等でご意見を聞いてみるような機会も作ってみてはどうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 常に自己決定が出来るような声かけを心掛けている。来たい服や、食べたい物等、自己決定が出来るようにしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 掃除、入浴、体操の時間は決まっているが、するかしないかは、本人に任せている。他はある程度自由に過ごされている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 行きつけの理容室がある方はそちらに行かれている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備、後片付けを一緒にしている	
			(外部評価) 調査訪問時の昼食は、職員が一人ひとりに配膳され、利用者個々でご自分で食べやすいように置き換えておられた。利用者同士で協力し合って下膳されていたり、食器を洗っておられる方の様子も見られた。職員は、食事を終えた方に、お茶のお代わりをすすめておられた。椅子の下には、足置き踏み台があり、食事の姿勢にも気を配っておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) こまめに水分補給を促している。ポカリスエットも常備して提供している。それぞれに合わせた、食事量・形態で介助も必要に応じ行っている。食事量のチェックをして、状態に応じて栄養補助食品で対応している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 起床時、毎食後に口腔ケアを行っている。粘膜ブラシで口腔マッサージをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個々の排泄パターンを確認し、ポータブルトイレ等必要な援助を行っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分摂取を促し、食事を消化しやすい形態にしたり、ヤクルト・ヨーグルトの提供をしている。毎日、運動を取り入れている。又、下剤も便の状態に合わせて調節している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	夜間の入浴においては対応が出来ていないが、出来る限り利用者の希望を最優先にしている	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	年齢や体力の合わせて対応している。室内の換気、温度調節にも気をつけている。起床・就床時間はそれぞれに合わせている。	
			(外部評価)		



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報をいつでも見られる所へファイルし置き、確認するようにしている。 内服薬変更時には、申し送り・日誌の記入をしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 毎月行事を行い、毎日役割を持って生活されている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 寒さ・暑さが厳しい時期はなかなか外へ出られないが、気候の良い時は買い物、近所の散歩へ良く出かける。	
			(外部評価) 「暖かくなれば、外出が増えるから」と、歩く練習をされている利用者がおられた。散歩に出かけたり、庭の桜の下で食事をされることもある。又、野菜畑の世話等を計画される等、日常的に外に出る機会を作っておられる。先日は、近くの県歴史博物館に展示されている「おひな様」を見に行かれ、利用者が喜ばれたようである。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほとんどの方は管理が困難なため手持ちでお金を持っておられず、支払う場面はない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙は困難な方が多く出来ていないが、電話は希望時にスタッフがダイヤルを回し電話が出来るように支援している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	季節の花を時々飾っている。 月行事に関連した飾りをしている。 TVの音や外からの光・室温などは入居者に聞いて調節している。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	フロアー内に仕切りがなく孤立することもなく1人1人思い思いに過ごされている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	家族会で撮った家族写真などを飾っている。 本人の馴染みのものを持ってきてもらっているが、寝るだけの部屋になっている。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	工夫することで出来るようになることは、改善している。 自分のことはなるべく自分でしてもらい、困っていることは一緒に行うことで安心して活動できるように支援している。 入居者さんによって対応方法に変化が必要なることを日々の業務の中で話し合っている。	
			(外部評価)		